



主がよみがえられたイースターの主日 — ハッピーエンド

コンスタンシオ・コンサルタ神父

おとぎ話が皆から愛されるのはハッピーエンドだからです。キリスト教はキリストの復活故におとぎ話と関連付けられることもあります。私たちはハッピーエンドを確信しています。どのような苦しみや悲劇を今日担っていても、すべてが正しい終わりを迎え、笑顔と笑いが戻ってきます。空の墓が私たちの救い主、イエスがよみがえられたことのシンボルになったように、墓は空になるでしょう。すべての人がいと高き神の玉座を見だし、そこでは涙も拭い去られるでしょう。

イースターの記述の中で、マグダラのマリア、ペトロ、そして愛する弟子たちはイースターの早朝、空になった墓に遭遇します。彼らは心臓がドキドキするほど驚きました。そしてイエスが三日目に復活すると約束されたことを思い出すと、興奮を隠しきれなくなりました。主がお姿を現わされたそのときから、落胆も悲壮感も彼らの肩に重くのしかかってはきませんでした。復活された主は彼らの目となり、彼らのものの見方となりました。これこそ聖アウグスティヌスが、「私たちはイースターの民であり、アレルヤは私たちの歌」と言われた理由です。

私たちは復活された私たちの主のことを忘れて絶え間ない怒りの中にいないでしょうか？多くの問題に押しつぶされていないでしょうか？もしそうであれば、私たちの墓は空にはならず、骨でいっぱいになってしまいます。命はその輝きと喜びを失い、私たちは悲劇の中に沈んでしまうでしょう。復活された主の存在がなければ、私たちはこの世界の闇に立ち向かうすべを持たないのです。しかし主がともにおられれば、私たちは光と愛の輝きの中に生きるのです。

復活された主はどのようにして私たちの中に現れて下さるのでしょうか？信仰を通して主が本当に私たちの中に現れて下さることを思い描き、平和と喜びを保てるよう私たち自身に強く働きかけ、そして主がすべての闇と罪と死を打ち負かして下さることを信じることができますように。

みなさん、イースターおめでとうございます。

2019年3月度住吉教会評議会議事録

日時・場所 2019年3月17日(日) 11:05~12:06、第2会議室

出席者 12名

始めの祈り

* 星の園幼稚園からの連絡・調整事項

4月11日(木) 星の園幼稚園入園式 エマニュエル神父様出席

* エマニュエル神父様からのメッセージ

バルテレミ神父が4月から司祭ミサローテーションに入ります。日本語勉強中(3年間)最初の1年間は教会の動き、様子を見て、司祭としての職務を行っていく。

議事

- 1 行事予定(ミサお知らせ参照) 追記、変更について
- 2 四旬節黙想会(指導司祭 エマニュエル神父)、講話、ゆるしの秘跡について
- 3 聖週間の典礼について
火の準備:T.K.氏に依頼。復活徹夜祭ミサで3名の洗礼と改宗が執り行われる。
- 4 住吉教会評議会規約改正(案)について(教区通達参照)
補正案2:第3条 本会(小教区評議会)は司祭チームの諮問機関である。
第7条 司牧チームと宣教チームを統合し、宣教司牧チームとする。
青年学生チームを青少年チームと改称する。(中高大学生、青年)
- 5 施設管理チーム代表選任について
U議長とN新議長がT氏(前 教会建設委員長)に就任を要請すること。
- 6 印刷機見積もり検討(両面印刷、モノクロ)
片面2色刷り、両面モノクロ印刷。保守契約(1年目無料、2年目からスポット契約)以上、見積もり:リース料27,000円/月を承認。
4月12日の「すみよし誌ご復活号」印刷日に納品が間に合うよう業者に連絡。
- 7 その他検討、報告事項
 - (1) 司祭金祝・銀祝 ミサお知らせ(3月24日号に掲載) お祝い持参
 - (2) すみよし誌発行 広報チームの人員減少により年2回(ご復活、ご降誕祭)
住吉教会写真 スキャンし、CD化しています。
2階への階段 歴代司祭の写真を、承諾を得て掲出(夙川教会と同様)
 - (3) 墓地委員会報告 新たに4月から墓地委員(U.T.、Tさん)承認
5月22日(水) 司祭月修:甲山墓園 司祭追悼祈念ミサ
傘木神父様の納骨が予定されています。
4月16日墓地委員会で住吉教会ご遺族に案内文発送
バス代800円、弁当代700円出席者から会費徴収
経費差額は教会から補助する。
住吉教会信徒数の26.4%が70歳以上になりました。
 - (4) 小聖堂の呼称 現行どおり、「祈念堂」とする。 75歳以上は20.3%
 - (5) 2018年度決算 立替金(レシート、領収書必要)早急に精算すること

終わりの祈り

☆次回評議会 4月28日(日) 小教区総会に続き、第2会議室にて

聖週間について

典礼チーム

今年も四旬節の半ばになり、まもなくわたしたちは1年でもっとも大切な、ご復活の日を迎えます。その直前の聖週間は次のような日程になります。

(1) 4月14日(日)受難の主日〔枝の主日〕 9時半

この日は主キリストのエルサレム入城と受難という、二つの出来事を記念します。わたしたちはシュロの枝を持って聖堂の入口に集まり、枝の祝福を受けた後福音の朗読を聞いて、司祭と奉仕者に続いて聖堂に入ります。ミサの中では、キリスト・語り手・群衆などに役割を分担して、キリストの受難が朗読されます。今年はC年にあたるためルカ福音書から読まれます。

(2) 4月18日(木)聖木曜日 19時 主の晩さんの夕べのミサ

キリストが聖体を制定し、ご自分の記念として行うように命じた“最後の晩さん”を記念します。またキリストが弟子の足を洗った出来事にならって、司祭が数人の信者の足を洗う洗足式もおこなわれます。拝領祈願の後、御聖体は別の安置所に移されます。祭壇上のものはすべて取り除かれ、キリストの受難と死が始まったことを表します。わたしたちは仮安置所の御聖体の前で祈ります。

(3) 4月19日(金)聖金曜日 19時 主の受難

この日はキリストの受難と死の意義を思い起こして断食し、また救いへの過越の途上なのでミサはありません。聖堂に集まって、「言葉の典礼」で役割を分担したヨハネによる受難の朗読を聞き、盛式共同祈願ののち「十字架の礼拝」がおこなわれ、「交わりの儀」の中であらかじめ聖別された聖体をいただきます。

(4) 4月20日(土)復活徹夜祭 19時 復活の聖なる徹夜祭

本来は夜を徹してキリストの復活を記念する典礼でしたが、住吉教会では夜の7時から行われています。典礼は次の「光の祭儀」「言葉の典礼」「洗礼と堅信」「感謝の典礼」の4部で構成されています。

①「光の祭儀」 聖堂の外で祝福された火が復活のろうそくにともされ、皆で「キリストの光」「神に感謝」と歌いながら、列になって真っ暗な聖堂に入ります。その後復活のろうそくから各々のろうそくに火がともされ、“復活賛歌”が歌われます。

②「言葉の典礼」 照明をつけろうそくを消して着席した後、旧約聖書が読まれます。全部で七つありますが、当教会では第1朗読(創世記)、第3朗読(出エジプト記)、第7朗読(エゼキエルの預言)が読まれ、それぞれ答唱詩編と祈願がつきます。その後祭壇のろうそくに火がともされ、“栄光の賛歌”を歌い、“使徒パウロのローマの教会への手紙”、アレルヤ唱、福音朗読と続きます。

③「洗礼と堅信」 この徹夜祭は初代より洗礼式にもっともふさわしい時と考えられてきました。住吉教会でもこの日に洗礼と堅信を受け、初めてご聖体をいただく方を迎えます。またすでに信者であるわたしたちも、各自の洗礼を思い起こし、神の子として生きる決意を新たにします。

④「感謝の典礼」 ここからはいつもの主日のミサと同じように行われます。

(5) 4月21日(日)9時半 復活の主日〔日中のミサ〕

この日はアレルヤ唱の前に“復活の続唱”を歌います。また初聖体のお恵みをいただく方もおられますので、信者たち皆で喜びを分かち合います。